

報 廣

守 山人

第 106 号

昭和44年10月25日
 編集発行
 南 国 市 広 報 委 員 会
 事 務 所
 高知県南国市役所内
 (電④2111)
 印 刷 川北印刷株式会社
 (電④3151・有線155-11)



よみがえる 山地農業

これまで水田酪農を営んでいました、金地の齋藤さんは、事業の拡大、農業公害などのことから山地酪農への転換をこころざし、白木谷はその用地をもとめ、昨年より新しい山地農業の経営が行なわれています。

— 白木谷 齋藤牧場にて —

最近の新聞紙上には日本の高度経済成長、国際収支の黒字など日本人にとっては気持のよいことが多い、これには種々の原因があるであろうが第一の原因は日本人が優秀であるためだろう。◆数年前の教育があまり盛んになり種々論議されたことがある。そのときひそかに思ったことは日本はじまって以来、これ位教育が盛んなことはなく、したがって今の子ども達が世に出たなら日本はすばらしい発展を上げるだろうと。戦後生まれた子どもたちがすでに世の中で働きはじめた。案の案、日本は外国から文句がくるほどに外貨がたまりだした。西独のマルクと円は世界最強の通貨となった。◆交通事故だ汚職だストだ銀行強盗だなど世相には暗い面もたしかにあることはあるが、造船の世界一、鉄の生産量がアメリカに次ぎ二番目、自動車も三番目だ。カメラだ、望遠鏡だ、テレビの普及など世界の三番までには入っている。まだまだある。平和産業の闘いは毎日毎日続いている。大いに闘い世界一の文化国家になろう。

